

【2020 年度 一般常識 解説】

1

- (1) 正解は②。立川市の昭和記念公園から陸上競技の会場となる国立競技場までは、電車と徒歩で1時間以上かかる。バスならさらにもっと時間がかかり、現実的ではない。駒沢公園は1964年には競技会場として使用されたが、選手村ではなかった。渋谷の代々木公園なら国立競技場まで車で約10分という短さである。有明は有明アリーナなどの競技会場があるが、選手村はない。選手村は、有明から目と鼻の先の中央区晴海である。
- (2) 正解は②。隅田川は川幅が広いこともあり、特に景観が悪化しているとは言えない。渋谷川は一部が首都高の高架構造になっている区間があるが、あまり目立たず地下化する話はない。江戸川には高架区間はないと考えてよい。ところが日本橋川は比較的川幅が狭く、かつ周りに高いビルが多いので、日本橋の中間地点に立つと、確かに「空は半分消えて」いる。この部分の首都高は地下化してもらいたい、と思うのは人間の自然な感情であろう。
- (3) 正解は②。英語の concession は、ここでは「使用权」という意味。言い換えると、所有権は渡さないが、「使用权」については譲歩するということ。正解の中のキーワードは「運営権」である。運営権を手に入れた民間事業者は、運営に関しては所有権者から指図されることはない。

2

- (1) 正解は③。アジア太平洋地域における国別国際会議の開催件数(2018年)の5位までは次の通り。1位: 日本(492件)、2位: 中国(449件)、3位: 韓国(273件)、4位: オーストラリア(265件)、5位: タイ(193件)。
- (2) 正解は③。国際観光旅客税は、観光先進国実現に向けた財源確保が目的で、出入国時の手続きがスムーズに行える環境づくり、文化財や国立公園などにおける多言語解説の整備、訪日観光における新たな観光コンテンツの整備などの財源にあてられる。その観点から考えると、①の「住宅宿泊事業」、②の「マネジメントの資金」、④の「新ターミナルの建設や周辺ホテルの整備」は、国際観光旅客税の目的ではないことが判る。
- (3) 正解は④。①は、「心のバリアフリーについては、建築面などハードのバリアフリー化を実現した後に進めていく」の部分がおかしい。ハードとソフトのバリアフリー化を同時に実現する方針が打ち出されている。②は「もっぱら民間が主要な担い手となり」がおかしい。政府も障害者団体等へのヒアリングをするようになっていく。③は「バリアフリー化が義務付けられた」はおかしい。未だ義務付けられてはいない。

3

- (1) 正解は①。2019年の統計では、宿泊費については、英国・フランス・オーストラリア、スペイン、ドイツ・イタリア・米国等の欧米豪の国々が上位を占めている。
- (2) 正解は④。訪日旅行の好調な状況を背景に、国際収支における旅行収支は改善し、2015年に1962年以来53年ぶりに黒字に転化した。
- (3) 正解は①。2019年の訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出を費目別にみると、買物代が5万3,331円と最も高く、次いで宿泊料金(4万7,336円)、飲食費(3万4,740円)となっている。
- (4) 正解は③。2019年の訪日外国人旅行者1人当たりの平均的な日本での宿泊日数は、欧米豪からの旅行者はいずれも10日以上で、フランスは17日、ドイツは14日、イタリア・スペイン・オーストラリアは、それぞれ13日である。
- (5) 正解は③。5位までの順位は、東京都・大阪府・京都府・北海道・沖縄県となっている。

4

正解は①。特定複合観光施設とは、IR(統合型リゾート)のことである。

5

- (1) 正解は④。DMOは①のような「都市部の旅行業者への支援を行う」法人ではない。②の「全国一律の定量的な基準へ均一にマネジメントする」では、地域に応じた観光地づくりはできない。③に関しては、2019年8月現在、観光地域づくり法人は136ある。

- (2) 正解は①。スマート・ベニューとは、様々なイベントを開催でき、周辺に商業施設を配するような多機能で複合的な機能を組み合わせた交流施設のこと。②のスマート・シティとは、都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区のこと。③のコンパクトシティとは、都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市のこと。④のユニーク・ベニューとは、歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと。
- (3) 正解は②。①の創造農村セレクションとは、その土地の自然と人間の持つ創造性によって、新たな文化、産業や雇用を生み出そうとする農村の中で選りすぐられたもの。③の農山漁村百選は、出題者が作ったと思われる造語で、実際には存在しない。④のグッドライフアワードとは、環境省が「環境と社会により暮らし」を実践している優れた活動や取り組みを顕彰する制度。

6

正解は③。①を訂正するとしたら、「2015年の490万人から2020年には1,000万人へと増やす」となる。②の「優れた自然環境をできるかぎり保全し」は、「国立公園満喫プロジェクト」の「日本の豊かな自然資源を観光資源として効果的に活用する」という考えとは矛盾する。④の「全国のすべての国立公園で一斉にプロモーションを強化し」ではなくて、「国立公園満喫プロジェクト」では、日光国立公園など8つの国立公園のプロモーションを強化することになっている。

7

正解は①。②に関しては「90%以上」を「70%以上」にすると正しくなる。③は「5年間保存」を「3年間保存」にすると正しくなる。④は、「年次有給休暇の取得は義務の対象とならず、労働者ごとの任意に委ねられることになった」は、「年次有給休暇の取得は義務の対象であり、労働者ごとの任意に委ねられることはない」にすると正しくなる。

8

正解は②。性的マイノリティであることを隠すのではなく、カミングアウトしてプライドを持って生きようということが、最近の性的マイノリティの人たちの心情なので、彼らのパレードは「プライドパレード」という。

9

(1)

問1 正解は②。2018年の世界の人口を約77億人とする、14億人は約18%になる。

問2 正解は③。外国人訪問者数が多い国のうちで、1位から5位までは、フランス・スペイン・米国・中国・イタリアとなっている。

(2)

問1 正解は②。国際観光収入が多い国のうちで、1位から5位までは、米国・スペイン・フランス・タイ・イタリアとなっている。

問2 正解は④。国際観光支出が多い国のうちで、1位から5位までは、中国・米国・ドイツ・英国・フランスとなっている。

10

正解は①。海外危険度レベルのうち、レベル1は「十分注意してください」、レベル2は「不要不急の渡航は止めてください」、レベル3は「渡航は止めてください」(渡航中止勧告)、レベル4は「退避してください。渡航は止めてください」(退避勧告)、となっている。